

## 徒手空拳

梅津純子

朝光に白き水脈<sup>み</sup>曳<sup>を</sup>き進みゆく「スイム」の選手ら点となりつつ

空からのカメラが映すお台場に泳者は白き水脈を曳きゆく

今生のチャンスなりせばトイレ臭と言はれし水にもアスリート競ふ

辺り裂く女性の気合空手「形」裂帛<sup>れっぱく</sup>といふ言葉かへり来

武器持たぬ琉球に生るる護身術空手の演武に心身の覚む

かくまでも五体は研がる空手「形」手足の動き目にも留まらず

八方の仮想の敵と対峙する徒手空拳の五体を研ぎて

侵すなく護らむ備へ怠らず沖縄の空手「九条」に重ぬ

はかり知れぬ努力の頂競ひ合ふ選手に打たるコロナ禍なれど

「無観客」に熱狂のなくテレビ観る独りのほてりデルタ株に冷む